

◆ 元気なあいさつ 明るい歌声 笑顔あふれる中央中学校



令和4年7月1日 第5号

校長 中村 洋一郎

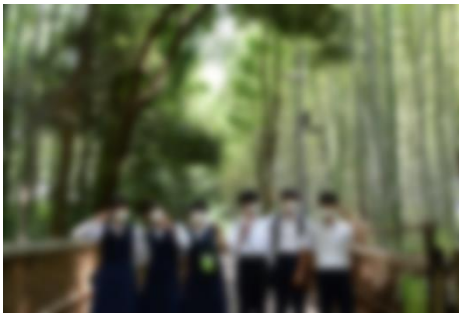
中央中さわやか相談室 3階

相談室 ☎ 2959-9591

3Work (Team・Net・Foot)を大切に中央中の子供たちのために

《成長を実感できる修学旅行になりました》

6月8日(水)から2泊3日で京都・奈良へ修学旅行に行かせていただきました。1学期に予定通りに出発できる修学旅行は実に3年ぶりでした。コロナ禍なので、食事・入浴・就寝時以外はマスクを着用し新幹線の座席も向い合わせにできず、お菓子も禁止等制約の多い修学旅行となりましたが、生徒達は充実した思い出に残る3日間を過ごしました。一番心配していた発熱者や体調不良者もほとんど出なかったことが何よりでした。この3日間で生徒達の良いところをたくさん見ることができました。普段の学校生活の延長ですが、①あいさつがしっかりとできる、②時間通りに行動ができる、③周囲に対して気遣いができる、④先生の話をも素直に聞いて実行する…中央中生の素晴らしさを再確認することができました。添乗員や旅館の方々、タクシー会社の方々など、いろいろな方面からお褒めの言葉をたくさんいただくことができました。修学旅行実行委員がたてたスローガンは『成』～身に成る、成し遂げられる、成長できる修学旅行にしよう～でしたが、まさしく成長を実感できる修学旅行になったと思います。大事なことは、この修学旅行での成長をこれからの学校生活と学校行事に活かすことです。(引率責任者：中村)



旅館“花かんざし”から手紙が届きました(*~)v

修学旅行から帰ってきて数日後、校長宛に1通の手紙が届きました。“花かんざし”と言えば、今回修学旅行でお世話になった旅館です。何かな～と思って手紙を読ませていただくと、嬉しいことが書かれていました。そして別便で“西陣織の美しいテーブルセンター”も送っていただきました。手紙とテーブルセンターは3年生の廊下に掲示してありますので、ご覧になっていただければと思います。

手紙の内容を一部抜粋してご紹介させていただきます。

「ご熱心なるご指導のもと、とても澁漑として、礼儀正しい生徒様ばかりでございました。当方、何のおもてなしも出来ませず、不行き届きばかりでございましたのに、4階と5階の生徒様方より、たくさんの心温まるメッセージをいただき、スタッフ一同仕事の励みになると、嬉しく、楽しく読ませていただきました。ありがとうございました。」同封してくれたコピーを見ると、延べ80人ほどの生徒が、旅館の方々にお世話になったお礼をメモ用紙などに書いて、部屋に置いてきたようです。どんなことを書いたか一文を紹介します。

『花かんざしの皆さん、おもてなし、本当に嬉しかったです。ご飯もとても美味しく、また食べたいです。3日間、お世話になりました。おおきに…』

字を見ると、女子だけでなく男子も書いていたようです。長年教員生活をしていますが、修学旅行後に、このような感謝の手紙をもらったのは初めてです。中央中生素敵ですね！これぞ、気遣い!!



《宿泊学習～大成功～》

6月12日（日）・13日（月）、2学年が宿泊学習に行きました。行先は高尾の森わくわくビレッジと相模湖リゾート プレジャーフォレストでした。初日、わくわくビレッジでは、2クラスずつPA（プロジェクトアドベンチャー）とキンボールにそれぞれ取り組み、午前と午後で交代しました。PAとは冒険に挑戦する活動を柱にして個人の成長とグループ内の人間関係づくりを支援する取組です。具体的には、仲間と協力して大きく回されている大縄の下を走り抜けたり、ロープにぶら下がって、島（に見立てた木製の箱）から島に飛び移ったりすることに挑戦しました。活動を通して、リーダーシップを発揮したり、仲間を気遣ったりする場面が多くみられました。

キンボールは直径1.2メートル、重さ1キロほどの柔らかい大きなボールを使い、4人1組でチームを組み、同時に3チームが得点を競い合う球技です。一人ではどうにもならない大きなボールを4人が協力してレシーブしたり、サーブしたりすることで、声を掛け合って自然と協力することができていました。夜はキャンドルファイアを行い、各クラスの出し物（スタンプ）で大いに盛り上がりました。ダンスあり、お笑いありの楽しい時間があったという間に過ぎました。

2日目はプレジャーフォレストで飯盒炊さん（カレー作り）に取り組みました。既に薪の火が安定しているのに、団扇であおぎまくる生徒たち。煙と灰がもうもうと舞い目にしみましたが、それもよいスパイスとなり、おいしいカレーが出来上がりました。宿泊学習大成功でした！（引率責任者：早川）



《校外学習～大成功～》

6月8日（木）、待ちに待った遠足に行ってきました。1年生の生徒たちは、雨模様の日が続いていたので、4クラスともに“てるてる坊主”を作り、この日を待ち望んでいました。この熱い思いが功を奏し、曇り空でしたが暑くもない、素敵な天気をプレゼントしてくれました。

生徒たちは体育館に集合し、出発式を行いました。今回の遠足の実行委員長である〇〇〇〇さんから、「班や学級での集団で動く活動がたくさんあるので、セクション長を中心に協力して動いて、思い出に残る校外学習にしましょう。」と、学年の全生徒へ言葉をかけました。また、副実行委員長の〇〇〇〇さんは、これから徒歩で稻荷山公園に向かう意欲を鼓舞するように、「行くぞー」を十連発し、最後にその意気込みを、全員で「オー」と声でアピールしました。現地についてから、午前中は、クラスごとに時間差で市立博物館を見学するとともに、だるまさんが転んだ、長縄の8の字跳び、泥警（ドロケイ）など、学級ごとにレクレーションを楽しみました。お昼は、クラスごとに輪になったり、班ごとにかたまったりして、お弁当を頬張りました。その頃には芝生の水滴も乾いており、レジャーシートなしでも座ることができました。午後は、学年全体でレクを楽しみました。まずはジャンケン列車、最後までジャンケンに勝ち続けた班がチャンピオンになりました。次に、お玉リレー、体育祭でもよくある競技ですが、距離を短くして、40人全員参加で行いました。最後に行った、借り物ならぬ“借り人競走”という種目は、例えば「滑舌がいい人」というお題で自分のクラスから滑舌が一番の代表を出して、各クラスの代表どうして滑舌の良さを競うというものでした。生徒たちのアイデアで、全員が参加でき、しかも手軽で楽しいレクを考えて準備してくれたおかげで、みんな大変心ゆくまで楽しめました。

楽しい時間があったという間に過ぎて、学年全員で記念撮影をした後に、帰路につきました。学校に戻って帰着式を行い、副実行委員長の〇〇〇〇さんから、「今日の遠足で、より仲良くなったことを、これからの生活に活かしていきましょう。」とまとめの話があり、最後に、〇〇さんの「お疲れ様でした。」

の号令に全員が唱和して、解散となりました。実行委員をはじめ、学年のいろいろな生徒が活躍し、クラスや学年の絆がより深まった、大成功の遠足となりました。（引率責任者：井堀）

【学年全員でハイチーズ！】

